

インテグレートッドパワーアンプ
TRV-300ST



取扱説明書

2006年6月1日 第3版

Tri

株式会社 トライオード

〒343-0015 埼玉県越谷市花田2-17-10

TEL : 048-962-7109
FAX : 048-962-7309

御使用前に必ず本書をお読み下さい

この度は当社真空管アンプTRV-300STをご購入頂き厚く御礼申し上げます。

取り扱いのご注意

- (1) 日本国内用の機器ですから電源プラグをAC100V家庭用コンセントにつないで下さい。
- (2) 理由の如何に関わらず分解、修理、改造はしないで下さい。内部には高電圧を使用していますので危険です。故障や内部点検の時はお買い上げ店または当社窓口までお問い合わせ下さい。
- (3) 電源コードは傷つけないで下さい。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電や火災事故につながる恐れがあります。
- (4) 内部に異物や水分を入れないで下さい。故障の原因になります。
- (5) 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触らないで下さい。感電の原因になります。
- (6) 長期間使用しない場合は電源プラグを抜いて下さい。
- (7) 本体を持ち上げる際はフロントパネルにあるアングルは持たないで下さい。
- (8) 本機は本来の目的以外に使用しないで下さい。本来の使い方以外で発生した事故等については一切の補償および責任を負いかねますのでご了承願います。

保証について

このアンプは高電圧(直流450V)を使用している事と、真空管が高温になるため取り扱いには十分ご注意ください。

特に小さいお子様がいる家庭ではなるべく手の届かない場所に設置されるようお願いいたします。これらの感電、火傷等による事故への補償はできませんので取り扱いには充分ご注意ください。

**尚、このアンプには真空管ボンネットが付属しておりますので、必ずご使用下さい。
このカバーを使用しない場合の火傷などの怪我には一切の責任を負いかねますので十分ご注意ください。**

同梱品

ACケーブル、取扱説明書(本書)、保証書

設置場所

真空管アンプは高温になりますので密閉したところには設置しないで下さい。
真空管は周辺の温度により寿命に影響します。

開梱／接続方法

箱を開て本体を被っているビニール等を外して下さい。
真空管ボンネットは着脱式ですので左右を両手で持って持ち上げれば取り外しできます。
真空管ボンネットを外して真空管にかぶさっている緩衝材を取り外してください。
真空管が垂直に差し込まれている事を確認して下さい。元通りに真空管ボンネットを被せます。

付属の電源コードを差し込みます。

1、プリメインアンプとして使用する場合の接続方法

CDやDVD等の入力機器と本機をRCAケーブルを接続します。
パネル上面にあるLINE-IN PRE-INスイッチを**LINE-IN**側に倒します。
スピーカーケーブルを接続します。
プリメインアンプとして使用できますのでお好みの音量に調整して使用してください。
セレクタースイッチ、バランスボリュームも使用できます。

2、パワーアンプとして使用する場合の接続方法

プリアンプの出力RCAケーブルをPRE-IN端子に接続します。
パネル上面にあるLINE-IN PRE-INスイッチを**PRE-IN**側に倒します。
スピーカーケーブルを接続します。
パワーアンプとして動作しておりますので本機でのボリューム／バランス／入力切り換え機能は使用できません。
操作はすべてプリアンプで行います。

本機にはREC端子がありますので録音機がある場合はREC端子に接続してください

電源投入／切断

電源スイッチを入れる順番は信号の入力順（CDまたはプリアンプ等—本機）になります。
電源スイッチを切る順番はその逆（本機—CDまたはプリアンプ等）になります。
スイッチの入れる順番を間違えるとスピーカーから大きなノイズ音が出る事があり、最悪のケースではスピーカーを破損する恐れがありますので御注意下さい。
尚、このような場合の補償一切出来かねますのでご了承願います。

300B真空管のバイアス調整

まず調整する真空管のポジションに上部パネルのバイアスつまみを合わせます。
メーターを見ながらレベル調整ボリュームを回しメーターの目盛り6（5.5～6以内）に合わせます。
メーターでの多少の誤差は全く問題ありませんが、4本とも近い値に調整してください。
調整が終わりましたらバイアスつまみはセンター（OFF）にしておきます。つまみがセンター位置以外にある場合はスピーカーから多少ハムノイズ音が聴こえる事があります。

本機をパワーアンプとして使用する場合

プリアンプを使用して本機をパワーアンプとして使用する場合、プリアンプのゲインが高い場合には本機のメインボリュームを多少絞って御使用下さい。”シュー”というホワイトノイズが出ない位置でご使用下さい。

ヒューズの交換方法

マイナスインドライバー等でAC電源ソケットの中のヒューズホルダーを取り出します。
予備に1個付属してありますが、別途ご用意される場合はヒューズは6Aを使用して下さい。

真空管の交換方法

真空管を交換する際は電源を切って十分に冷えてから行って下さい。
真空管のベース（袴）の部分を持って左右にやや動かしながら慎重に引き抜いて下さい。
新たに真空管を差し込む時はソケットベースのガイドピンの場所をソケットに合わせて最後まで慎重に押し込んで下さい。
交換後、300Bは必ずバイアス電圧を調整し、メーターにて電流を合わせて下さい。
なお、この交換によるアンプの故障が発生した場合はお買い上げ店または当社窓口までお問い合わせ下さい。
但し、この交換による故障につきましては保証対象外となります。

仕様諸元

出力： 純A級 20W x 2（実効）
周波数レンジ： 10 ～ 50000Hz（0, -1dB）
全高調波歪率： 0.3%
SN比： 88dB
入力感度： LINE-IN 250mV / PRE-IN 600mV
入力インピーダンス： 250kΩ
出力インピーダンス： 4/8/16Ω
電源電圧： AC100V+/-5%、50～60Hz
使用真空管： 6SL7：2本 6SN7：2本
300B：4本
重量： 20kg
外形寸法： 440 x 320 x 200 mm（WxDxH）
消費電力： 220W / hr